

図書館便り 7月号

2021年7月7日発行
阿波高校図書委員会

早いですね。
もう夏休み目前です。
一学期は何冊本を読みましたか？
夏休みは何を読みますか？
何冊読みますか？
成長の夏です！
さあ、図書館便りを片手に、新しい本ともどンドン会いましょう！



○夏休み読書感想文～課題図書～

今年の夏も、1,2年生対象に読書感想文の宿題があります。
今年の課題図書は、こちらの3冊。図書館にあります。読んでみてください。



『 水を縫う 』

寺地 はるな 著

「刺繍が趣味」と聞くと、「あ、この主人公は女の子だな!」と思ってしまうませんか？この小説では違います。刺繍好きな高校生男子清澄が、かわいいものが苦手な姉のためにウェディングドレスを作ろうとします…。お話を味わうだけでなく、私たちの常識を問い直す時間になるといいですね。



『 兄の名は、ジェシカ 』

ジョン・ボイン 作

こちらははっきりと「LGBT」を打ち出した小説です。サッカー部のキャプテンで学校の人気者の兄が、ある日家族に告白します。自分はトランスジェンダーだと…。その告白を家族はどう受け止めていくのか、ぜひ自分で読んで、考えてみてください。

ちなみに、この作者の作品は以前も課題図書になっていて…。衝撃のラストと話題になった『縞模様のパジャマの少年』も合わせてどうぞ。



『 科学者になりたい君へ 』

佐藤 勝彦 著

科学ってなんだろう…。? 科学者にはどうしたらなれるんだろう? そんな素朴な疑問に答えてくれるかもしれない1冊です。理系のあなたも、文系のあなたもぜひ手に取ってみましょう。理学博士、東京大学名誉教授の著者が実例を交えて教えてくれますよ。

○34HR図書委員北原のお薦め本



『 ひとり旅の神様 』

五十嵐 雄策 著

神崎結子、OL。ひとり暮らし、彼氏なし。彼女はとにかくついていない。上司からは小言の連続、後輩はいまいち頼りない。そんな日常からの逃避行でたどり着いたのは鎌倉。そこで、旅を司る神と名乗る不思議な猫、ニャン太と出会う。ニャン太から頼まれたのは各地に住まう猫神様に文を届けること。ひとり旅は新たな発見の連続で…。

この話は、ひとり旅の中で出会いや別れ、新たな発見、それらを通じて結子が成長していく物語です。旅先での結子の食べっぷりは読んでいて爽快で、ニャン太との掛け合いは楽しく、そしてどこか抜けていて、とても和みます。心に「グッ」とくる言葉が多く、心に優しい、ほっと一息つける一時になるはず。阿波高図書館にはないので、気になる人はリクエストしてみてください。

もう一つ紹介したいものがあります。それは「乙女の本棚シリーズ」です。これは教科書にも載るような有名な文学作品に、様々なイラストレーターが挿絵をつけたものです。イラストが綺麗で、『山月記』や『檸檬』も教科書で読むよりもなぜか読みやすく感じます。ぜひ阿波高図書館で手に取ってみてください。

○34HR図書委員住友のお薦め本



『 坂の上の雲 』

司馬 遼太郎 著

「まことに小さな国が開花期を迎えようとしている。」

時は明治時代、約200年あまり続いた江戸幕府が滅び、日本は急激な近代化を始める。今回私がご紹介するのは、そんな激動の時代を生き抜く3人の男たちの物語です。

陸軍・海軍将校である秋山好古・真之兄弟、その友人で明治を代表する正岡子規、この3人に焦点を当て、明治政府発足から日露戦争までの動乱の時代をいかにして日本が走り抜けてきたのかが書かれています。

主人公が3人と複数いる上に様々な個性豊かな登場人物がおり、多くのストーリーが折り重なり、一つの大きな物語になってとても読み応えがあります。さらに、登場人物には、夏目漱石、東郷平八郎など歴史上の偉人が多数登場しており、歴史好きの人にはたまらない1冊だと思います。ぜひ読んでみてください！

○お知らせ

夏休み中は20冊まで貸し出しできます！ 返却は、9月1日です。ぜひご利用ください！

～2学期からは2年生が担当します。お楽しみに。～

